

川崎支部情報

中央
本部



横浜
地本



委員会宣言(案)

私たち、JR東労組川崎支部は3月10日、エポック中原において第20回定期委員会を開催し、会社一部経営陣によるJR東労組の破壊を跳ね返し23春闘勝利と組織強化・拡大をめざして全組合員でたたかい抜くための方針を満場一致で決定した。

会社は昨年年末手当交渉で私たちの要求とは程遠い回答を示してきた。私たちは組合員・未加入者の怒りと悔しさをバネに職場からたたかいを積み上げてきたものの、会社回答を覆すことはできなかった。未加入者の声では組織の力とはならず要求を実現するためには、組織拡大しかないことを改めて実感した。

23春闘はJR東労組として一律ベア10,000円(物価上昇・生活向上分を含む)要求を決定した。2023JR総連春闘スローガンに掲げた「物価上昇と組合員の生活実態に基づく賃上げ要求獲得」にむけて、組合員の声を要求に高め、「安全・健康・ゆとり」を実現するために川崎支部全組合員でたたかい抜いていこう。

職場では「業務の融合と連携・兼務」の名のもと、これまでの役割分担や職名にとらわれない働き方が目指され、3月1日の川崎統括センターの発足により、労働環境と生活環境に大きな変化が予想される。労働強化や効率化がさらに進み、安全を揺るがす事象も増加している。仲間意識や労働者意識を否定し、従順な社員へ変質させる変革の目的を明らかにし、川崎支部内の連携を強化していこう。

国府津運輸区や宇都宮運輸区であらわれたJR東労組を敵視するようなハラスメントや不当労働行為は断固として許しません。これは昨年の川崎運輸区での分会長脱退と同様、JR東労組全体に掛けられた攻撃だと規定し、職場集会や総対話行動で会社の横暴を暴露してきた。会社による不当労働行為と全てのハラスメントを断固許さず、川崎支部は組合員との対話を基礎に、あらゆる組織破壊攻撃に対したたたかい抜く。

12月16日、政府は、外交・防衛政策の長期指針、安保関連三文書の改訂を閣議決定した。この閣議決定は、戦後日本の安全保障政策の大転換とも言える。物資輸送、兵站輸送を担う鉄道も標的にされることは、ロシアによるウクライナ侵攻で証明している。他人事ではなく自分の身に降りかかってくることを自覚しなければならない。JR東労組は、「あらゆる戦争政策」と「暮らしを壊す増税」に断固反対していく。労働者が平和で安心して生活できる社会の実現のために、横浜地本推薦議員等懇談会の議員と連帯し、次期統一地方選挙立候補予定者を勝利に導こう。

私たちJR東労組川崎支部は「新生JR東労組運動宣言」を実践し、諦めることなく、そして騙されることなく、おかしいことは「おかしい」と声を出し、仲間との対話を基礎に職場からたたかい、組織強化・拡大を成し遂げていこうではないか！

以上、宣言する。

2023年3月10日
東日本旅客鉄道労働組合
横浜地方本部川崎支部
第20回 定期委員会